

# 女性の力で政治を変えよう！

「女性の力を結集して、何としても安倍政権の暴走を止め、新潟県政を変えよう」と、10月13日午後、市内で女性のつどいが開かれ、50人以上の女性が集まりました。

このつどいでは、橋爪のりかず議員団長と上野公悦幹事長(党上越地区委員長)が出席し、それぞれあいさつを行いました。

最初のあいさつに立った上野議員は、「安倍政権は、集团的自衛権の行使容認の閣議決定など、日本国憲法を壊し戦争のできる国づくりにひた走っている」「原発の再稼働やTPPの積極的推進、消費税の10%への増税など、国民の願いに逆行する政治を次から次へと強行している。来年のいつせい地方選挙は、こうした危険きわまりない安倍政権の暴走を止めるための大きな政治戦となる。とりわけ、県議会議員選挙は、柏崎刈羽の原発再稼働をストップさせ、原発ゼロの方向へ政治を動かす大きなたたかいだ。何としても皆さんの大きな力で、県民の命と暮らしを守るための県政に変えてほしい」と訴えました。

その後あいさつに立った橋爪のりかず議員団長は、「新潟県予算のうち、福祉予算の割合は全国最下位。逆に土木



女性後援会員のパフォーマンスの中で街頭演説する橋爪議員



挨拶する上野議員



「県政変えよう」と訴えるはしづめ議員

予算は高位を占めている。また、医師数は全国で42番目ときわめて少ない。県民の福祉・医療の充実は極めて重要な県政課題だ。国の原発再稼働の動きに対して知事は『原発事故の原因究明がされないうちは再稼働の議論はしない』としているが、県議会第1党の自

民党から大きな圧力をかけられている。『原発ノー』の勢力を伸ばせば、柏崎刈羽原発の再稼働を止めることができる。何としても、力を貸してほしい」と、力を込めて訴えました。集会の後、橋爪のりかず議員団長と上野こうえつ幹事長は、市内目抜き通りで、つどいに参加した女性の皆さんとともに、「暮らし破壊の安倍政権の暴走を止め、県政を変えよう」と、市民の皆さんに訴えました。

## 厚生産業会館建設費10億円増大 6万世帯へのアンケート配布始まる 日本共産党議員団に市民の協力広がる



多くの市民が協力……頸城区上野議員宅に集まったの作業風景

厚生産業会館の建設費の大幅増額について、市民の間で大きな反響が広がっています。

当初計画の建設費は約18億円でしたが、基本設計では10億円以上も上回る建設費が提示されたことから、議会で大きな問題となっています。

「来年度から普通交付税が段階的に縮小され、大変厳しい財政となる」として、市民には行財政改革の必要性が強調され、公の施設の統廃合や市民サービスの後退、使用料や諸手数料の見直しなど、緊縮財政が強調されています。そうした中での厚生産業会館の大幅な建設費増額だけに、市民の間からも「おかしい」という声が高まり、「計画の是非を含めて市民

の声を改めて聞いてほしい」という声広がっています。

9月議会では、日本共産党議員団の平良木哲也議員の質問に対して、市長は「利用者でない人の意見をどうやって聞くのか教えてほしい」という逆質問(議長は議会初の「反問権」として取り扱い)をしましたが、その際、日本共産党議員団として、6万世帯の市民アンケートを行うことを明らかにしました。

日本共産党議員団では、早速6万世帯分のアンケートを準備し、市民の享禄を得ながら配布活動を開始しましたが、さっそくたくさんの市民から歓迎の声が寄せられています。

アンケート用紙の配布は、10月末までに完了するよう頑張っています。しかし、世帯数が多い上に多額の費用を要することから、市民の皆さんに配布ボランティアと募金を呼びかけています。ご協力をお願いいたします。

### 日本共産党上越市議員団ニュース

No.431 2014年10月19日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木哲也 090-1808-6919 (上中田)